

夏間近！平泉中プール施設を開放します

いよいよ、まぶしい太陽の日差しが目にも染みる季節になってきました。夏も近づき、プールを利用される方も多くなってくると思います。昨年度まで利用いただいた町民プールは、設置条例の廃止により、本年度からは平泉中学校プールとなりました。

1 開放期間

7月11日から8月22日までです。7月24日から8月22日までは連日開放。その他の期間は土日のみ開放します。なお気温や水質によって、休館とする場合もありますのでご了承ください。

2 開放時間

9時から16時30分までです。

3 利用料

無料です。

4 利用方法

平泉中プール玄関の窓口で利用申込書に記入してください。団体・貸切使用の場合は教育委員会へ事前に申請手続きが必要となります。

5 注意すること

泥酔者や付添人のいない6歳以下の子どもは利用できません。泳ぐ前にはシャワーを浴び、体の汚れを良く落とすしてください。利用後は必ず自洗い、うがいをし、シャワーを浴びてください。

なおプールを原因とする感染症を防ぐため、右記の注意事項の徹底をお願いいたします。みなながプールを気持ちよく利用できるよう、正しく清潔に利用しましょう。



今年もスタート!! 「キッズサッカー」教室

平泉保育所と町立幼稚園では、町教育委員会が主催する「出前スポーツ教室」のプログラムを活用し、「キッズサッカー」を月2回行っています。同保育所では2年目、同幼稚園では3年目の取り組みで、4、5歳児の園児を対象に「心豊かにたくましい子の育成」を目標に活動しています。

6月9日には、佐藤体育指導委員らをコーチに、旧観自在王院庭園で第2回目の教室が開催されました。会場には、園児たちの笑顔あふれる元気いっぱいの声が響きわたりました。

ウォーミングアップを兼ねた鬼ごっこでは、園児たちがコーチ以上に会場を駆け回り、たまらずコーチが息を切らしてしまつほど。その後、コーチの指導のもと、園児たちの中には初めてサッカーボールをける子もいました。すぐにボールに慣れ、一生懸命ボールを追いかけ、力いっぱいボールをけつていました。

子どもたちは体を動かすことがとても大好きなようで、「もっとボールをけりたい」などと帰りに話してくれました。



元気にボールを追いかける園児たち

快晴のなか 熱戦繰り広げる 第5回ホテル武蔵坊杯 ゲートボール大会

第5回ホテル武蔵坊杯ゲートボール大会が6月15日、町営ゲートボール場で行われました。町内や一関市などから計20チームが参加、約120人が熱戦を繰り広げました。

町内から参加した5チームは残念ながら入賞を逃しましたが、7月3日には同会場で行われる一関地域・花泉地域・平泉町親睦交流ゲートボール大会が開催されます。

競技人口は減少傾向にあるが、各種大会を通じ交流を図りたいと町ゲートボール協会事務局の千葉純さんは話していました。



熱戦をくり広げる参加者たち

平泉小学校



深いプールもへっちゃら

わーい、プールだ！

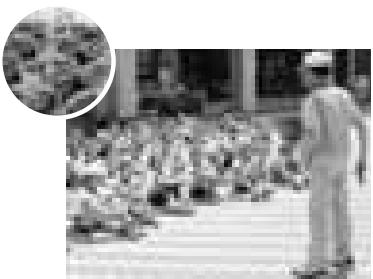
4・5・6年生が分担して掃除したびっぴかびかのプール。一番乗りしたのは、3年生でした。

3年生は、今年からプールでの学習です。初めは深さにびっぴりしていましたが、すぐに慣れて歓声が響き渡りました。

大切に、育てるね

4年生は、菊の鉢上げをしました。

やわらかでかわいい菊の苗を植える作業は、初めての体験です。菊の先生のお話を真剣に聞いて、自分の鉢に苗を丁寧に植えることができました。



説明をしっかりと聞いて植えました

たが、すぐに慣れて歓声が響き渡りました。3年生の目標は、25℃泳げるようになることです。

長島小学校

全校朝会パート3 みんなと仲良く、感謝の心を忘れずに

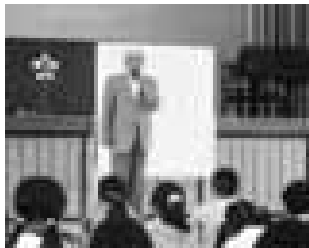
保護者や地域の方を講師に迎えてお話をしていた。6月21日に行いました。今回の講師は、満福寺住職の千葉亮賢さん(19区)です。

長島という地名をもとにした長島の歴史についてのお話でした。昔は小島という殿様が治める小島村と、長部という殿様が治める長部村があったこと。その後、

殿様は滅ぼされますが、地名はそのまま残り、明治22年に小島村と長部村が合併し、それぞれの村の名前から一字ずつとって「長島」という村が誕生したこと。昭和30年には長島村は合併し平泉町になったことを教えていただきました。

さらに、「どんなに合併があっても私たちが生まれたところは変わらず、何百年も前から私たちはどこかでつながっていて、みんない」と同じかもしれません。

いとこ同士みんな仲良くし、ありがとこの気持ち忘れずに長島に感謝の気持ちを広めましょう」と話を結びました。子どもたちは長島の誕生について興味深く聞いていました。



千葉さんの話聞き入る児童

平泉中学校

成長期の骨づくりが大切

「中学生のころから粗しょう症を予防しましょう」という狙いで6月9日と6月16日の2回「カルシウムアップお弁当づくり教室」が行われました。

この教室は町保健センターと平泉町学校保健会のお世話をいただき、平成10年から続いているものです。今回は延べ30人もの食生活改善推進協議会の方々の丁寧な指導のもと、2年生68人がお弁当づくりに挑戦しました。「カルシウムたっぷり弁当」のメニューは、「しそご飯、ささみのチーズピカタ、ポテトサラダ、ほうれん草のごま和え」でした。ごま和えのごまは、いつてから、さらにすり鉢ですると手の込んだもので、味も格別でした。

初めてお弁当を作った生徒は「ごまをすりつぶ

すが大変でした。カルシウムの大切さやお弁当の正しい詰め方、バランスの良い食事について詳しく分かりました。今日習った料理を家でも作ってみたい」と話していました。

16日に指導してくださった看護学生の三浦和磨さんは、みんな素直で協力してよかったです。自分から積極的に聞いてくれて助かりました。成長期にしっかりとカルシウムを摂取することが丈夫な骨をつくる上で大切だと感想を語ってくれました。



みんなで楽しくお弁当づくり